

# 答 申 書

2025 年 11 月 19 日

一宮市水道事業等管理者  
多和田 雅也 様

一宮市上下水道事業審議会

会長 齊 藤 由里恵



一宮市の水道事業、下水道事業の財政計画について(答申)

2025 年 8 月 4 日付け 25 水総発第 424 号にて諮問のありましたことについては、当審議会において慎重に審議した結果、以下のとおり答申します。

一宮市水道事業、下水道事業の財政計画については、見直すことが妥当である。

## 答申理由

水道事業、下水道事業ともに想定以上の人口減少により収益の減少が見込まれる一方、費用については、昨今の物価高騰の影響が大きく、水道事業においては県水の単価の上昇、下水道事業においては流域下水道維持管理費負担金単価の上昇や企業債制度の改正など、2023 年 3 月に改定した経営戦略の策定時と比べ事業を取り巻く環境が大きく変化しているため。

## 附帯意見

1. 収益の算定根拠となる将来の人口は、国立社会保障・人口問題研究所の推計値を用いるなど、現状見込める数値を根拠とし、今後もその推移を注視すること。
2. 下水道の水洗化率の向上に努め、資金の不足額を安易に企業債に頼らず経費回収率の向上に努めること。
3. 水道料金、下水道使用料の改定が利用者にとって急激な負担増とならないよう、改定時に留意すること。